

交通不便解消の手段

候補	方法	メリット	デメリット
西武バスの延伸	現在、台田団地が終点の路線について、団地交番前を左折し、柳瀬川通りを経て下宿2・3丁目まで延伸する。 延伸については、清瀬市から西武バスに対し要望を出している。	・柳瀬川通りは走行可能なので、道路途中の下宿2丁目付近までの交通需要に応えられる。	・柳瀬川通りの先の主要な施設(運動場等)へ至る道路の幅員が狭く、車両の乗り入れが出来ない。 ・車両がリターンして切り返し可能な広い道路もない。
コミュニティバスの延伸	コミュニティバスを現在の路線から延伸し、小金井街道若しくはけやき通りを経由して、下宿方面まで乗り入れる。	・車両が小型なので幅員の狭い道路も走行可能なため、柳瀬川通りを経て下宿2・3丁目まで走行できる。	・下宿に至るまでの小金井街道・けやき通り共に西武バスの既存の路線があるので、重複して路線を設ける事が出来ない。
デマンド型交通 (デマンドタクシー)	タクシー車両等を利用したデマンド型交通を行う。事前に利用登録した利用者が、必要に応じて乗車予約を行い、目的地まで移動する。	・車両の購入や停留所の設置が必要無いため、初期費用が抑えられる。 ・利用者が必要な時だけ利用できる。 ・タクシー車両を利用するので、どのような道路も走行可能。 ・乗降可能箇所を自由に設定できるため、バス路線と異なり広範な移動が可能	・利用と比例して市の費用負担が増加する。